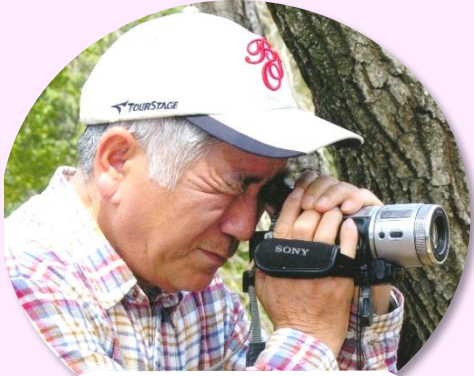


持込  
講座

## 「宝満山のヒキガエル」

令和4年1月31日(月)うめさろんにて「宝満山のヒキガエル」の持込講座を実施しました。



末永 邦夫さん

講師は、主に筑紫野市・太宰府市・小郡市にて歴史と自然を動画で記録し続けている、末永邦夫さん。

末永さんは、在職中に宝満山で体力づくりをされ、九州の百名山をほぼ登頂しただけではなく、富士山や槍ヶ岳、剣岳なども登頂するほどの健脚。

そして「子ガエル宝満山に登る」をはじめとする数々の記録動画は福岡市長賞を受賞するなど、高い評価を得ています。平成30年には「宝満山の力エルを守る会」を

結成され、宝満山の自然の保護活動をされています。

「宝満山のヒキガエル」は、春とは名ばかりの2月になると、ふもとの池で産卵するために宝満山を降りてきます。その道中には、胸を張りメスを待ち受けるオスが…。池に着くまで、メスをめぐるオスたちの戦いは続きます。めでたくペアになったものは、卵管に包まれた8000個ほどの卵を池に産み落とします。



卵は3月頃に孵化し、池で成長しカエルに変態を遂げると、5月頃には宝満山の登頂を始めます。その数10万匹！しかし、1cm余りの小さな子ガエルたちの登頂には多くの難所が待ち構えています。天敵の蛇やマカガシやアリの行列、一度落ちると這い上がれない道路脇の側溝などです。仲間たちは厳しい試練に命を落としていきますが、それでも難所を乗り越え、6月下旬頃には100～1000匹程度が頂上にたどり着きます。

なぜカエルが登山をするのか、詳しい理由は分かっていませんが、大変な道のりに文句も言わず頑張っている姿は、私たちにエールを送ってくれているようでもあります。



講座当日の風景



# 報告

## 「みんなで学ぶ」防災講座-災害と避難所-

令和4年1月22日(土)『「みんなで学ぶ」防災講座—災害と避難所—』(講師:防宰ボランティアネットワーク)を開催しました。

講座では、九州で起こった過去の災害や、太宰府で起こった災害時の状況を写真で見ながら、災害時の避難行動や避難所での過ごし方を学びました。

また避難情報では、レベル4の避難指示が出たら必ず避難するなど、早めに避難をして自分の命を守ることが大切です。

2003年 太宰府市  
大原団地



2018年 太宰府市三条



2016年 熊本地震



講座当日の  
風景

参加者からは、「災害の恐ろしさや、日頃からの準備についての基本的なことが勉強になりました」「防災の気持ちをあらたにしました」などの感想がありました。

3月12日(土)に、プラムカルコア太宰府にて今年度最後の防災講座を予定しています。詳しくは、うめさろん HP をご確認ください。(状況により変更になる場合もあります)

## アンケート回答者プレゼント企画

この「だんぼ通信94号」を読んで、面白かった記事や分かりにくかった点・その他ご意見・ご感想などを下記へお寄せください。お名前・住所・電話番号をお忘れなく。

FAX : 092-918-3644

メール : [dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp](mailto:dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp)

令和4年3月15日までにご応募頂いた方の中から、抽選で1名様にプレゼント!

今回のプレゼントは、「Re' born 不動産」が取り扱っている**ワイン**(1本)です!



# 活動紹介

# ゆるボラポーレ

ゆるボラポーレは、育休・産休・子育て中の親御さんの趣味・特技をいかすための場を提供する支援団体です。何かと教えられる事が多い子育て中、教える立場「ゆるボラ先生」としてさらに輝いていただく事をねらいとしています。活動する上で大切にしていることは「ゆるり」と。講座をする側も講座を受ける側も無理なく楽しくできるように心がけています♪

昨年は、母ちゃん防災士が、子育て・防災・環境の視点から、風呂敷活用講座を数回開きました。1枚あれば、エコバッグをはじめ、無限大に活用方法がある！参加者からは「子どもたちどうして遊んでいてくれたので、集中してお話が聞けました」「子どもと一緒に風呂敷を楽しく結べました」「防災時にも使えるなんて驚きでした！」「たんすに眠っている風呂敷をひっぱりだしてみます！」などとたくさんの嬉しい声が飛び交いました。子どもたちの遊び相手として学生ボランティアも随時募集中！単発OK！

今後も、親子でSDGsにも目を向けてもらえるよう「アトラッシュ～海ごみでつくる一日美術館！」や、おゆずり会、学生団体や地域とのコラボなど「つながり」を大切に続けます。運営側でも参加者側でも、ぜひ、ゆるりにご参加ください。

♪下は0歳～上は制限なしです。★お待ちしております♪

代表:音成直子



# であう・よりそう・うめさろん 「ここが知りたい」【行政編】



市民活動をしていると、時々  
「行政の人とは考え方が違うなあ」  
と、感じる時があるんだけど…

協働事業などで NPO と行政と一緒に活動すると、お互いをよく理解していないがために、考え方の違いにとまどうことがあります。

それぞれの特性について以前も紹介しましたが、今回は下記の部分について比較してみました。

## 協働って!?

異なる強みを持つ主体が、共通の目標のために責任と役割を分担し、対等の立場で力を合わせて働くこと

	NPO	行政
行動	自発性	法令や施策に基づく
お金の集め方	会費・寄付・事業収入 助成金・補助金 など	税金
組織存続に対する考え方	課題を解決したら解散という考え方もある。永続的ではない	無期限の持続を目指す
求める価値観	自分たちの団体が目指す社会や人の変化など	公平・平等
特性	多様な価値観 分野による専門性 変動的 自由度が高い すぐに動くことも可能	法令遵守 信頼性 安定的 柔軟性に欠ける すぐには動けない

それぞれの特性が違うので、価値観やスピード感など理解しがたいときもありますが、協働を行う場合には相手の立場や性質を知って、お互いが少しずつ歩み寄ることが必要と言えるのではないのでしょうか。

うめさろんでは協働に関するご相談も受けております。NPOの方・企業の方、そして行政の方もどうぞ、うめさろんスタッフにお声かけください！

申し込み・問い合わせは

太宰府市NPO・ボランティア支援センター「うめさろん」まで

太宰府市五条3丁目1番1号 いきいき情報センター 2階

平日 10:00~18:00 第2・第4土曜日 12:00~18:00

(休業日 毎週日曜日、祝日、毎月最終水曜日、第1・3・5土曜日

8月13日~15日、12月28日~1月4日)

TEL 092-918-3633 FAX 092-918-3644

MAIL dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

HP <http://umesalon.sakura.ne.jp/>

